

本件は東京都と同時発表しています。

第13-045号
2013年11月7日

11月24日(日)

石神井公園～大泉学園駅間の下り線を高架化します。

- ・ 本工事により、本区間にある3カ所の踏切の遮断時間が約4割減少します。
- ・ これに伴い、踏切を横断する距離（踏切横断長）が短縮されます。

西武鉄道株式会社（本社：埼玉県所沢市、社長：若林 久）は、東京都・練馬区と進めている「西武鉄道池袋線（練馬高野台～大泉学園駅間）連続立体交差事業」において、11月23日(土)終電車後～11月24日(日)初電車前に石神井公園～大泉学園駅付近の下り線を高架に切り換える工事を実施し、11月24日(日)初電車より高架線の使用を開始します。

この工事により、下り線高架区間にある3カ所の踏切の遮断時間が約4割減少し、交通渋滞の緩和が期待されます。

引き続き、石神井公園～大泉学園駅間の踏切除却に向け、工事を進めてまいります。

当社、東京都・練馬区では、踏切での交通渋滞の解消、鉄道により分断されている街の一体化などを図るため、今後も、連続立体交差事業の推進に向け、積極的に取り組んでまいります。



記

1. 切換工事の概要

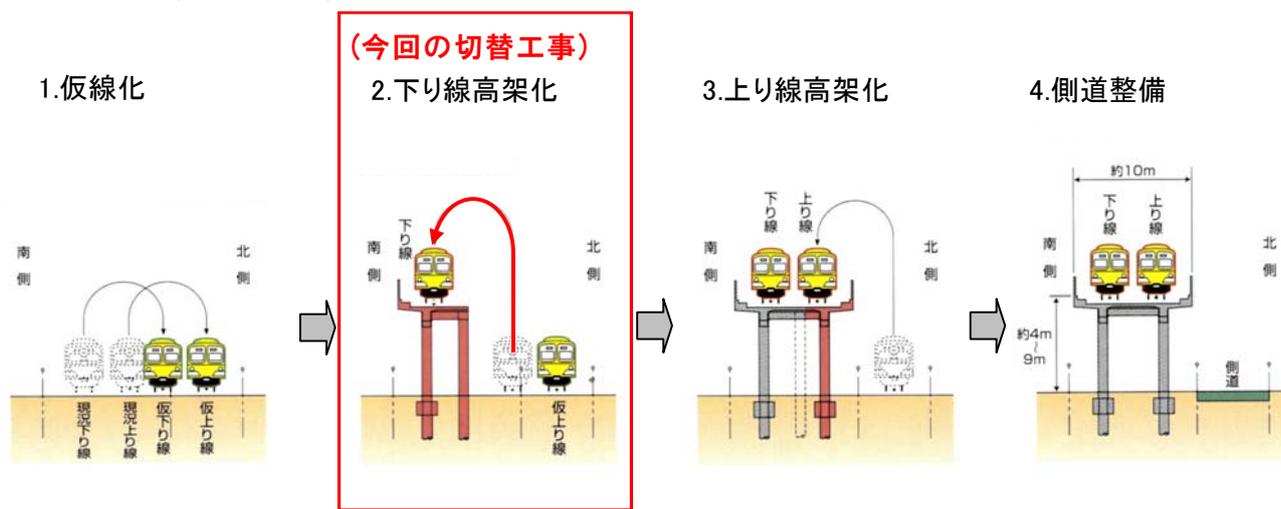
(1) 切換工事予定日時

2013年11月23日（土）終電車後～11月24日（日）初電車前

（当日の天候、列車の運行状況等により工事を行えない場合は、11月24日（日）終電車後～11月25日（月）初電車前に延期します。）

(2) 西武鉄道池袋線（練馬高野台～大泉学園駅間）連続立体交差化事業 概要図（別紙参照）

(3) 事業の施行手順

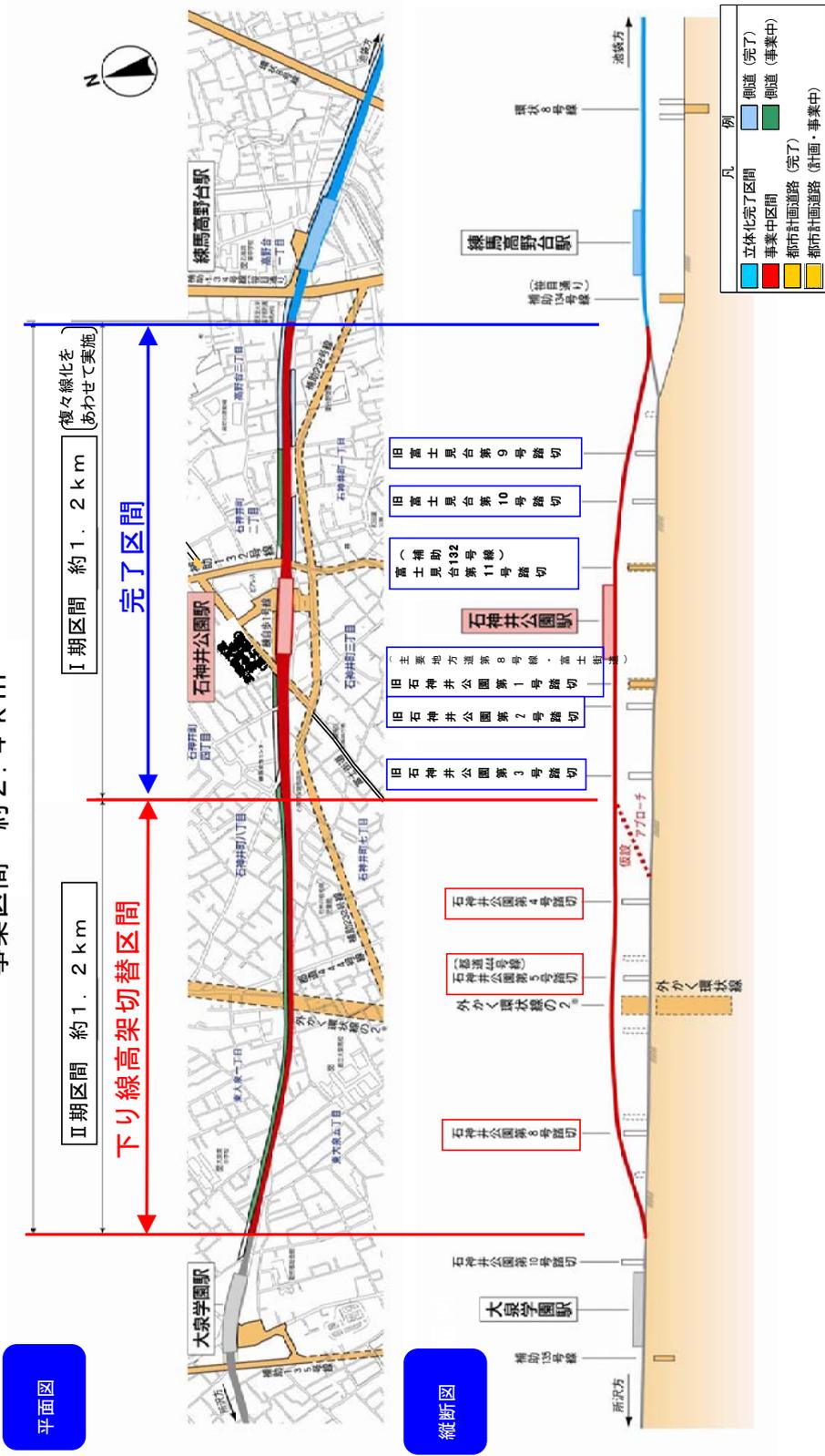


(4) 踏切道長の変更

踏切道名	道路名	踏切道長〔現況⇒変更後〕	
石神井第4号踏切道	区道21-212号線	約11m ⇒	約7m
石神井第5号踏切道	都道444号線	約10m ⇒	約6m
石神井第8号踏切道	区道22-101号線	約13m ⇒	約8m

西武鉄道池袋線（練馬高野台駅～大泉学園駅間）連続立体交差事業 概要図

事業区間 約 2.4 km



平面図

縦断面図

池袋線の高架化について

池袋線の高架複々線化工事については、1971年の都市計画決定以来、東京都・練馬区などと協力して工事を進め、2003年3月に、桜台（新桜台）～練馬高野台間が完成しました。

石神井公園駅付近については、2003年4月、国から連続立体交差事業の新規着工の採択を受け、2005年6月、大泉学園駅付近まで高架化を延伸する都市計画が決定されました。その後、関係機関との手続きを進め、2007年8月に工事着工しました。

この事業が完成すると、線路の高架化により合計9ヵ所の踏切がなくなり、踏切事故や交通渋滞の解消が図れます。

また、石神井公園駅（Ⅰ期区間）においては、ホーム2面、線路4線化されたホームとなり、上り・下りホームそれぞれで急行電車と普通電車の待ち合わせができるようになり、お客さまの利便性が向上しました。

2. 事業の概要

- | | |
|------------|--|
| (1) 事業名 | 西武鉄道池袋線（練馬高野台駅～大泉学園駅間）連続立体交差事業 |
| (2) 事業者 | 東京都 |
| (3) 事業延長 | 約2.4km（Ⅰ期区間：約1.2km、Ⅱ期区間：約1.2km） |
| (4) 事業費 | 約360億円（複々線化事業を含む総事業費 約474億円）
（負担内訳 国、都及び練馬区：約285億円、
西武鉄道：約189億円） |
| (5) 事業認可期間 | 2007年度～2014年度 |

以上